

緊急のお知らせ

住宅火災による死者が増加しています



火災による死者の**約9割**が住宅火災で発生しています。

○主な出火原因は、たばこ、こんろ、電気、ストーブです。

○住宅火災による死者の**約7割**が、**65歳以上**の高齢者です。

空気が乾燥し火災が起こりやすい状況が続いています。
住宅火災の対策を、もう一度確認しましょう！



住宅火災の主な原因に注意しましょう

たばこの管理はしっかりと！

- ・寝たばこは絶対にしない
- ・うたた寝に注意する
- ・吸殻を灰皿にためない
- ・吸殻は水で完全に消してから捨てる
- ・火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する



調理中は目を離さないで！

- ・調理中に離れない
- ・周囲に燃えやすいものを置かない
- ・防災品のエプロンやアームカバーを使用する
- ・火が鍋底からはみ出さないように調節する
- ・安全機能(Siセンサー)付きこんろを使用する



電気も火災の原因になります！

- ・使っていないプラグは抜く
- ・定期的に掃除する
- ・束ねて使用しない
- ・家具などの下敷き、折れ曲がりに注意する
- ・タップは決められた容量内で使用する



ストーブの使用方法に注意！

- ・周囲に燃えやすいものを置かない
- ・外出時や就寝時は必ず消す
- ・給油は必ず消してから行う
- ・ストーブの近くで洗濯物を乾かさなないで！



住宅用火災警報器をチェックしましょう

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知し、警報音などで火災の発生を知らせてくれます。

- 設置場所は、寝室、階段です。
- 本体にあるボタンを押すか、ヒモを引いて異常がないか、定期的(最低1年に1回)に作動点検をしましょう。正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。



- 交換は「設置後、10年」が目安となります。経年劣化した警報器は火災を感知しなくなることがあるためとても危険です。忘れずに交換しましょう。



川越地区消防局予防課

TEL 049-222-0744